



Oracle Processor Core Factor Table 補足資料

(2018年2月8日以降有効)

ご留意事項

Oracle Cloud 上で稼働する Oracle ライセンスについて：

Oracle Cloud 上に永久ライセンス、もしくは期限付きライセンスを持ち込み、インストールする場合

例：Oracle Java Cloud Service 上にインストール/稼働する Oracle SOA Suite for Oracle Middleware ライセンス (Oracle Cloud ドキュメント上で認定されたプログラムリスト参照)

Oracle Cloud 上での使用を満たす数量の契約ライセンスが必要です。

具体的には、Processor ライセンスは以下の比率で Oracle Cloud に持ち込むことが可能です。

- 1 Processor ライセンスあたり 2 OCPU 上で当該プログラム使用可能 (1 Processor: 2 OCPU)

Named User Plus (NUP) ライセンスを Oracle Cloud に持ち込む場合、Cloud でプログラムを使用するために十分な数の NUP ライセンスが必要です。つまり、実際のユーザー数か、Processor ごとの最少ユーザー数の、どちらか多い方の数量の NUP ライセンスが必要です。

- 1 Processor あたりの最少ユーザー数が 25 のプログラムの場合、2 OCPU ごとに 25 NUP ライセンスが必要

- 1 Processor あたりの最少ユーザー数が 10 のプログラムの場合、2 OCPU ごとに 10 NUP ライセンスが必要

契約している Oracle ライセンスを Oracle Revello 環境に持ち込む場合、vCPU 上におけるライセンスは以下比率が適用されます。

- 1 Processor ライセンスあたり 4 vCPU 上で当該プログラム使用可能 (1 Processor: 4 vCPU)

* 4vCPU: 2 Ravello R1 もしくは R2 compute units

プログラム名に Standard Edition、Standard Edition One または Standard Edition 2 が含まれるライセンスを持ち込む場合、1 CPU ソケットは 4 つの vCPU と同等と見なされます。

Oracle Revello に Named User Plus (NUP) ライセンスを持ち込む場合は、Cloud でプログラムを使用するために十分な数の NUP ライセンスが必要です。つまり、実際のユーザー数か、Processor ごとの最少ユーザー数の、どちらか多い方の数量の NUP ライセンスが必要です。

- 1 Processor あたりの最少ユーザー数が 25 の製品の場合、4vCPU ごとに 25 NUP ライセンスが必要

- 1 Processor あたりの最少ユーザー数が 10 の製品の場合、4vCPU ごとに 10 NUP ライセンスが必要

契約ライセンス名称に Standard Edition One、Standard Edition 2、もしくは、Standard Edition が

含まれる場合 (WebCenter Enterprise Capture Standard Edition、Java SE Support、Java SE Advanced、Java SE Suite 各製品を除く)、Oracle Compute Units (OCPU) 上におけるライセンスは以下比率が適用されます。

- Processor ライセンスはソケットとしてカウントしているとみなし、1 Processor ライセンスあたり

4 OCPU 上で当該プログラム使用可能 (1 Processor: 4 OCPU)

1 Server あたりの最少ユーザー数が 10 NUP ライセンスである Standard Edition 2 の NUP 最少ユーザー数については、

a) 実際に使用しているユーザー数 b) 8 OCPU ごとに最少ユーザー数 10 NUP ライセンス のどちらか多い方の数量の NUP ライセンスが必要です。また、インスタンスが 8 OCPU を下回る場合も、最少ユーザー数は 10 NUP が必要です。

本文書は予告なく変更される場合があります。本文書は日本オラクル株式会社の書面による明示的な許諾なく、いかなる方法においても転載することは許されておられません。

日本オラクル株式会社

Copyright© 2018, Oracle. All rights reserved.